

平成30年度決算に対する各会派の意見

政友会

平成30年度の一般会計実質収支は10億円超の黒字で、財務の判断基準では健全である。自治体の財政支出は、地域経済の活性化に資するものである。したがって、より積極的に将来の市の発展を見据えた公共投資が必要な場合もあると考える。

鈴木 隆	佐藤 泉
大島 信夫	鈴木 務
小森谷博之	渡邊 澄夫

古河市公明党

平成30年度の一般会計の決算は実質収支、約10億円の黒字である。今後も新たな企業誘致、子育て世帯等の定住促進の継続的な推進と、将来を見据えた様々な事業推進が不可欠である。そのためにも、自主財源確保と、各産業の振興等の積極的な取り組みを望む。

渡辺 松男	高橋 秀彰
佐藤 稔	鶴見久美子

真政会

一般会計および各特別会計において、概ね的確で健全な予算執行がなされ、良好な行政運営がされていると思われる。しかし、歳入面で市税の徴収においては、収入未済額、不能欠損額が大きく、納税者の公平性を保つ上でも改善されるよう更なる努力を期待する。

黒川 輝男	赤坂 育男
青木 和夫	稲葉 貴大
園部 増治	

市民ベースの会

歳入は市税等が増加する一方、地方交付税等の減少で10億円以上の減収となった。特に収入未済や国保税の法定外繰入が顕著である。税負担の公平性から税金の未納対策をしっかりと行い、歳出においては市民ニーズに応える施策の展開と事業の健全運営を切に望む。

落合 康之	増田 悟
倉持 健一	阿久津佳子
長浜 音一	生沼 繁

会派に属さない議員

行財政改革により全体的にメリハリのある効いた予算執行になっていたと感じる。今後も市民ニーズに沿ったスリムな行政運営を望む。

事業の成果・結果から反省点を明確にし、改善に向けて着実に進めていただきたい。市民に寄り添ったサービスの質の向上を望む。

国保税の大幅値上げ、県事業の肩代わりの筑西幹線道路整備、仁連工業団地開発など開発優先、福祉切り捨てであり、賛成できない。

小山 高正

古川 一美

秋庭 繁